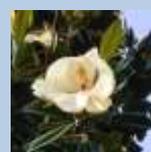


泰山木

佐倉市立上志津中学校



H26.5.29

発行責任者
山口 俊久

在籍数	
1年生	86名
2年生	108名
3年生	115名
計	309名



☆みんなで良き思い出を！☆

校長 山口俊久

間もなく梅雨入りでしょうか？蒸し暑い日が続いています。

三年生は、五月三十日から京都・奈良へ修学旅行に行ってきます。二年生は、六月八日から富士山麓西湖で自然体験学習です。そして一年生は、六月九日に志津が原歴史探訪と各学年校外学習を実施します。実りある行事になるように、各学年実行委員が中心となり取り組んでいます。天候に恵まれ、けが等のないように気をつけて行ってらっしゃい。お土産話を楽しみにしています。【念のために、中旬は定期テストが控えていますぞ！】

さて五月に入り一年生が正式入部し、各部活動共に一部会（佐倉市・酒々井町）の大会が行われています。どの部も負けず劣らず良い成績を残しています。早速一年生も大会に出場し活躍している生徒もいます。

今更の如く感じたのですが、『挨拶のしつかりできている部は強い！』ということですね。きちんと立ち止まって、大きな声で挨拶ができている選手が多い部はよい成績を残しています。作業をしている私に対して、「ありがとうございます」と声かけをしてくれてくれる部員もいます。私自身もこれまで部活動の指導を長年やってきましたから、驥面については口酸っぱく指導をしてきた経過がありますが、「やはりね！」「指導は間違ってたかった」と感じています。

授業に集中できていない生徒は、大事な場面でサインを見落としたりプレーに集中できず力が発揮できなかったりします。内職したり、読書したり、机に伏せたりしている等、君の事だよ！

特に、団体種目である部活動は一人でもそのような選手がいたらチーム全体の足を引っぱってしまうことになりやすいです。今一步のところ、練習の成果が発揮できていない人がいたら、普段の生活を振り返ってみてみたらいかでしょうか。部活動だけ一生懸命やろうとしても、結局望み通りには結果は結びついてこないことが多いです。三年生は引退まで約一ヶ月程になりましたよ。後悔しないで済むように。

そこで、五月の全校集会の感想から

（主に部活動関係）

・ 集会の時、表彰で沢山の先輩方が呼ばれていたのを見て、すごいなうと思えました。僕もあんな風に表彰されるように頑張りたい。
・ 表彰の先輩方の返事がとても大きな声で、すごいと思えました。

・ 上志津中学校に入る前は、中学校は問題ばかりがある学校だと思いましたが、実際入ってみたら、みんな優しい人ばかりでいいと思えました。僕もそんな風になりたいと思えました。
・ 挨拶がよくなった部活が強くなったと聞いて、自分も普段の生活から頑張ろうと思えました。絶対に県大会に行く。

・ 部活動で表彰されたことが一回もないので、今日表彰された人を尊敬するし、自分も夏のコンクールでそうなりたい。
・ 自分の部が挨拶が変わったと言われて嬉しかったが他校よりできていないと思うので、今後気をつけていきたい。

読んでいて嬉しくなる感想が沢山ありました。すてきな生徒がいっぱいいます！

【インディアンへの教えより】

- 一 批判ばかり受けて育った子は、非難ばかりします。
- 一 敵意に満ちた中で育った子は、誰とでも戦います。
- 一 ひやかしを受けて育った子は、はにかみやになります。
- 一 ねたみを受けて育った子は、いつも悪いことをしているような気持ちになります。
- 一 心が寛大な人の中で育った子は、がまん強くなります。
- 一 励ましを受けて育った子は、自信を持ちます。
- 一 ほめられる中で育った子は、いつも感謝することを知ります。
- 一 公明正大な中で育った子は、正義心を持ちます。
- 一 思いやりのある中で育った子は、信仰心を持ちます。
- 一 人に認めてもらえる中で育った子は、自分を大事にします。
- 一 仲間の愛の中で育った子は、世界に愛を見つめます。

これは十数年前に『家庭教育学級』の中で使用したものです。誰もが、人様に迷惑をかけることなく、明るく健やかに育ってほしいと願っています。中学生期くらいなら、良き仲間・良き集団に巡り会い、自分を変えることができます。学校がそんな場になれたらと思います！



